

2 授業科目の概要

<工学研究科 宇宙航空理工学専攻（修士課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
特別研究	特別研究A(研究指導)	1前	2			5	3	1					
	特別研究B(研究指導)	1後	2			5	3	1					
	特別研究C(研究指導)	2前		2		5	3	1					
	特別研究D(研究指導)	2後		2		5	3	1					
	小計(4科目)	-	4	4	0	5	3	1	0	0	0	0	
基礎科目	宇宙航空数学特論	1・2前		2		1							
	宇宙航空物理・化学特論A	1・2後		2			1						
	宇宙航空物理・化学特論B	1・2後		2		1							
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	1	0	0	0	0	0	
講義	材料・構造特論A	1・2前		2		1							
	材料・構造特論B	1・2前		2			1						
	空力・推進特論A	1・2後		2				1					
	空力・推進特論B	1・2後		2			1						
	制御・情報特論A	1・2前		2			1						
	制御・情報特論B	1・2前		2			1						
	宇宙航空理工学特論	1前		2		2	1	1					
	小計(7科目)	-	0	14	0	5	3	1	0	0	0	0	
	専門科目	材料・構造セミナーA	1・2前		3		2	1					
		材料・構造セミナーB	1・2後		3		2	1					
材料・構造セミナーC		1・2前		3		2	1						
材料・構造セミナーD		1・2後		3		2	1						
空力・推進セミナーA		1・2前		3		2		1					
空力・推進セミナーB		1・2後		3		2		1					
空力・推進セミナーC		1・2前		3		2		1					
空力・推進セミナーD		1・2後		3		2		1					
制御・情報セミナーA		1・2前		3		2	2						
制御・情報セミナーB		1・2後		3		2	2						
制御・情報セミナーC		1・2前		3		2	2						
制御・情報セミナーD		1・2後		3		2	2						
小計(12科目)		-	0	36	0	6	3	1	0	0	0	0	
研究科共通	高速現象と可視化技術	1・2後		2		1							
	工業数学特別講義	1・2前		2							1		
	情報数理工学特別講義	1・2前		2							1		
	原子力工学特別講義	1・2後		2							1		
	技術英語特別講義A	1・2前		2							1		
	技術英語特別講義B	1・2後		2							1		
小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	0	3		
合計(32科目)	-	4	72	0	6	3	1	0	0	0	3		
卒業要件及び履修方法													
大学院工学研究科宇宙航空理工学専攻修士課程の修了要件は、本課程に2年以上在学し、指導教員の指導のもとに、必修科目及び選択科目を含め、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出して、その審査及び試験に合格することとする。ただし、優れた成績を上げた者については、在学期間は1年以上で良い。													

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
特別研究	特別研究A(研究指導)	1前	2			6	3						
	特別研究B(研究指導)	1後	2			6	3						
	特別研究C(研究指導)	2前		2		6	3						
	特別研究D(研究指導)	2後		2		6	3						
	小計(4科目)	-	4	4	0	6	3	0	0	0	0	0	
基礎科目	宇宙航空数学特論	1・2前		2		1							
	宇宙航空物理・化学特論A	1・2後		2			1						
	宇宙航空物理・化学特論B	1・2後		2		1							
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	1	0	0	0	0	0	
講義	材料・構造特論A	1・2前		2		1							
	材料・構造特論B	1・2前		2			1						
	空力・推進特論A	1・2後		2				1					
	空力・推進特論B	1・2後		2			1						
	制御・情報特論A	1・2前		2			1						
	制御・情報特論B	1・2前		2			1						
	宇宙航空理工学特論	1前		2		2	2						
	小計(7科目)	-	0	14	0	6	3	0	0	0	0	0	
	専門科目	材料・構造セミナーA	1・2前		3		2	1					
		材料・構造セミナーB	1・2後		3		2	1					
材料・構造セミナーC		1・2前		3		2	1						
材料・構造セミナーD		1・2後		3		2	1						
空力・推進セミナーA		1・2前		3		2		1					
空力・推進セミナーB		1・2後		3		2		1					
空力・推進セミナーC		1・2前		3		2		1					
空力・推進セミナーD		1・2後		3		2		1					
制御・情報セミナーA		1・2前		3		3	1						
制御・情報セミナーB		1・2後		3		3	1						
制御・情報セミナーC		1・2前		3		3	1						
制御・情報セミナーD		1・2後		3		3	1						
小計(12科目)		-	0	36	0	7	3	0	0	0	0	0	
研究科共通	高速現象と可視化技術	1・2後		2		1							
	工業数学特別講義	1・2前		2							1		
	情報数理工学特別講義	1・2前		2							1		
	原子力工学特別講義	1・2後		2							1		
	技術英語特別講義A	1・2前		2							1		
	技術英語特別講義B	1・2後		2							1		
小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	0	3		
合計(32科目)	-	4	72	0	7	3	0	0	0	0	3		
卒業要件及び履修方法													
大学院工学研究科宇宙航空理工学専攻修士課程の修了要件は、本課程に2年以上在学し、指導教員の指導のもとに、必修科目及び選択科目を含め、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出して、その審査及び試験に合格することとする。ただし、優れた成績を上げた者については、在学期間は1年以上で良い。													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
特別研究	特別研究A(研究指導)	1前	2			5	4					
	特別研究B(研究指導)	1後	2			5	4					
	特別研究C(研究指導)	2前		2		5	4					
	特別研究D(研究指導)	2後		2		5	4					
	小計(4科目)	-	4	4	0	5	4	0	0	0	0	
基礎科目	宇宙航空数学特論	1-2前				1						
	宇宙航空物理・化学特論A	1-2後		2			1					
	宇宙航空物理・化学特論B	1-2後		2			1					
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	1	0	0	0	0	
講義	材料・構造特論A	1-2前		2		1						
	材料・構造特論B	1-2前		2			1					
	空力・推進特論A	1-2後		2			1					
	空力・推進特論B	1-2後		2			1					
	制御・情報特論A	1-2前		2			1					
	制御・情報特論B	1-2前		2			1					
	宇宙航空理工学特論	1前		2		2	2					
	小計(7科目)	-	0	14	0	5	4	0	0	0	0	
	セミナー	材料・構造セミナーA	1-2前		3		2	1				
		材料・構造セミナーB	1-2後		3		2	1				
		材料・構造セミナーC	1-2前		3		2	1				
		材料・構造セミナーD	1-2後		3		2	1				
		空力・推進セミナーA	1-2前		3		2	1				
		空力・推進セミナーB	1-2後		3		2	1				
空力・推進セミナーC		1-2前		3		2	1					
空力・推進セミナーD		1-2後		3		2	1					
制御・情報セミナーA		1-2前		3		2	2					
制御・情報セミナーB		1-2後		3		2	2					
制御・情報セミナーC		1-2前		3		2	2					
制御・情報セミナーD		1-2後		3		2	2					
小計(12科目)	-	0	36	0	6	4	0	0	0	0		
研究科共通	高速現象と可視化技術	1-2後		2		1						
	工業数学特別講義	1-2前		2							1	
	情報数理工学特別講義	1-2前		2							1	
	原子力工学特別講義	1-2後		2							1	
	技術英語特別講義A	1-2前		2							1	
	技術英語特別講義B	1-2後		2							1	
小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	3		
合計(32科目)	-	4	72	0	6	4	0	0	0	3		

卒業要件及び履修方法

大学院工学研究科宇宙航空理工学専攻修士課程の修了要件は、本課程に2年以上在学し、指導教員の指導のもとに、必修科目及び選択科目を含め、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出して、その審査及び試験に合格することとする。ただし、優れた成績を上げた者については、在学期間は1年以上で良い。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

・講師 桑原大介が2022年4月1日付で、准教授に昇格したことによる専任教員等の配置の変更。

【令和5年度】

・海老沼拓史准教授の教授昇格により、専任教員等の配置について「特別研究A」「特別研究B」「特別研究C」「特別研究D」は「教授5」から「教授6」に、「制御・情報特論A」は「教授1」に、「制御・情報セミナーA」「制御・情報セミナーB」「制御・情報セミナーC」「制御・情報セミナーD」は「教授2」から「教授3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	30 科目	0 科目	32 科目	2 科目 [0]	30 科目 [0]	0 科目 [0]	32 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。